

アクション油ヶ淵 in 安城を開催しました。



稲垣副知事



神谷市長

11月6日(金)に油ヶ淵水質浄化促進協議会(構成員:愛知県知事、碧南市長、安城市長、西尾市長、高浜市長)が油ヶ淵の水質浄化への住民意識を高めるため、安城市文化センターで浄化促進イベント「アクション油ヶ淵 in 安城」を開催し、約400名の参加がありました。

式典に続き、安城市立丈山小学校6年生のみなさんが「半場川を身近に」と題し、いろんな体験を通し五感を使って調べることで、油ヶ淵をよく知り、これからも、身近に感じ大切にしていこうと訴えました。

最後の合唱では、日頃の練習の成果がうかがわれる見事なハーモニーを披露し、会場から盛大な拍手と賞賛を受けていました。



(丈山小学校発表風景)



次に、油ヶ淵美化ネットの山中さんが、「私たちの『アクション油ヶ淵』II」と題して、日頃の、水環境モニタリングや葦船学校などの水質浄化活動を紹介しました。葦船学校は、葦の持つ水質浄化機能に着目して、油ヶ淵に自生する葦を活用するために平成20年から立ち上げました。このアクション油ヶ淵 in 安城の日から、第3回目の葦船学校がスタートし、この冬に葦刈りを行って、来年夏の葦船づくりと乗船会に向けた活動を行います。



(油ヶ淵美化ネット発表)

続いて、環境寄席では、落語家の笑福亭学光師匠が「自分のためには地球のため…笑いは水を育む」と題して、日頃の体験からボランティア活動の大切さを語りかけました。「壁にぶつかることはよいことだ。次に新しいことが考えられるのだから。油ヶ淵がまだ汚れているのだとしても、それが人と人とのコミュニケーションづくりや、考えるきっかけになる。その結果、きれいになっていけばよい。」との言葉に参加者一同大いになぜかされました。もちろん、得意の笑いもばっちり。あっという間の1時間でした。

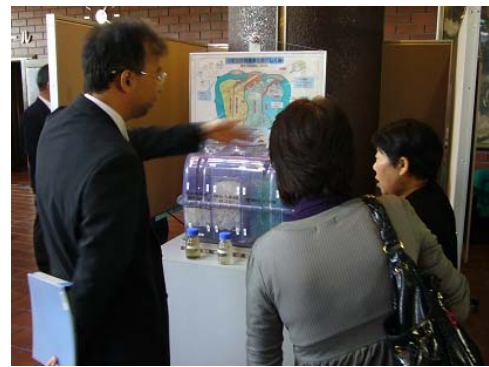


(環境寄席で熱演する学光師匠)

また、会場内では、油ヶ淵の水質浄化やCOP10に関するパネルなどの展示も行いました。



(パネル展示)



(浄化槽モデル展示)



(受付風景)



(客席風景)